



直接・ベース配管仕様／製品個別注意事項⑨

ご使用前に必ずお読みください。安全上のご注意ならびに3・4・5ポート電磁弁／共通注意事項につきましては当社ホームページの「SMC製品取扱注意事項」および「取扱説明書」をご確認ください。 <https://www.smcworld.com>

ランプ・サージ電圧保護回路

△注意

サージ電圧保護回路における残留電圧について

注) バリスタおよびダイオードのサージ電圧保護回路の場合、保護素子および定格電圧に応じた電圧の残留がありますので、下記表をご参照のうえコントローラ側のサージ電圧保護にご留意ください。また応答時間にも違いが生じますのでP.1057、1064の仕様をご確認ください。

残留電圧

サージ電圧保護回路	DC		AC
	24	12	
S, Z	約1V		約1V
R, U	約47V	約32V	—

切換方式の変更

△警告

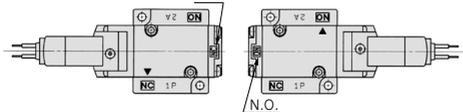
切換方式の変更や変更後の再起動をする時は十分に安全を確認し、注意して行ってください。

例：N.C.→N.O.への変更

1) ベース配管の場合

(N.C.の場合)
N.C.

(N.O.の場合)
N.O.

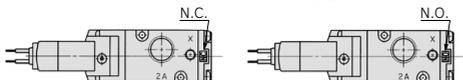


- 1) バルブをサブプレートから取外し、ボティの▼印とサブプレートのN.O.マークを合わせて取付ける。
- 2) エンドプレートをボティから取外し、エンドプレートのN.O.マークがバルブ上面になるように180°回転させ取付ける。
※配管変更は必要ありません。

2) 直接配管の場合

(N.C.の場合)
N.C.

(N.O.の場合)
N.O.



- エンドプレートをボティから取外し、エンドプレートのN.O.マークがバルブ上面になるように180°回転させ取付ける。
※配管は下記表のように行ってください。

ポート	1P	2A	3R
切換方式			
N.C.	1次側	2次側	排気側
N.O.	排気側	2次側	1次側

旧VPシリーズをNew VPシリーズに交換時のご注意

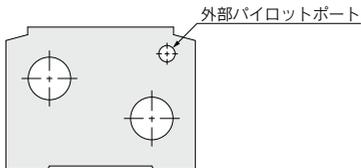
△注意

旧型VPシリーズで外部パイロット形マニホールドを使用している場合、搭載バルブを新型VPシリーズに交換する際は、バルブ選定方法が異なりますのでご注意ください。

マニホールド型式	搭載バルブ	
	新型VP	旧型VP
VV3P□□□□□□□□ (内部パイロット形)	内部パイロット	内部パイロット
VV3P□□R□□□□□□ (外部パイロット形)	外部パイロット	内部パイロット

<外部パイロット形マニホールドの見分け方>

外部パイロットポートに配管されている場合、外部パイロット形マニホールドです。



ワンタッチ管継手使用上のご注意

△注意

管継手を使用する際は、種類およびサイズによっては管継手同士が干渉する場合がありますので、使用する管継手のカタログで、寸法を確認後ご使用くださるようお願いいたします。下記に、VPシリーズ適合確認済みの管継手を示します。適合範囲内の管継手を選定頂ければ干渉なくご使用頂けます。

対象継手：KQ2H,KQ2Sシリーズ

シリーズ	配管ポート	管接続口径	適合チューブ外径						
			φ3.2	φ4	φ6	φ8	φ10	φ12	φ16
VP(A)300 注)	1P,2A,3R	1/8,1/4							
	X	M5							
VP(A)500	1P,2A,3R	1/4,3/8							
	X	1/8							
VP(A)700	1P,2A,3R	3/8,1/2							
	X	1/8							
VV3P(A)3 マニホールドベース	1P,2A,3R	1/4							
	X	M5							
VV3P(A)5 マニホールドベース	1P,2A,3R	3/8							
	X	M5							
VV3P(A)7 マニホールドベース	1P,2A,3R	1/2							
	X	1/8							

注) VP(A)300シリーズの管接続口径：1/4仕様につきましては、パツキンシル方式のワンタッチ管継手：KQ2□-□□P(1)シリーズを使用することができません。

SYJ

VQZ

VP

VP